

交換留学(派遣) 帰国報告書

| あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません) | |
|--|--------------------------------|
| 留学先大学: | イタリア ポローニャ大学 |
| 留学先での所属学部・研究科: | Political Sciences |
| 留学先での在籍身分: | Bachelor |
| 留学期間: | 2019年8月31日～2020年4月20日 |
| 神戸大学での所属学部/研究科: | 国際人間科学部 |
| 学年(出発時): | 3年 |
| 帰国日: | 2020/3/10(帰国後しばらくオンライン授業を受講継続) |
| 本報告書記入日: | 2020/4/21 |



1. 留学先大学について

| | | |
|------------|--|---|
| 1-1 | 学年開始月日: | 9月1日 |
| | 学年終了月日: | 8月31日 |
| | 学期: | ① 9月23日～1月31日頃(公式のアカデミックカレンダーが見つかりませんでした。学部や授業によって開始/終了時期がやや異なります。1・2月、6・7月は主にテスト期間です) |
| | | ② 2月3日～7月31日頃 |
| ③ 月 日～ 月 日 | | |
| ④ 月 日～ 月 日 | | |
| 1-2 | 留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。 | 1088年創立、ヨーロッパ最古の大学。法学が特に有名だそうです。どの学部にも留学生がいます。 |
| 1-3 | 留学先大学のサポートについて記入ください。 | |
| | 語学面でのサポート: | CLAという大学附属の語学学校のようなものがありました(大学の単位取得可能)。初めて授業をとるセメスター分は無償、2つめのセメスター分からは有償(210ユーロ、約2万5千円)でした。人気なので履修したい場合は募集期間が始まり次第すぐに申し込みをするべきです。 |
| | 勉学面でのサポート: | 特になのですが、もちろん積極的に質問したり、授業内容について行くのが大変だと感じたとしなくてもなんとかついていけるようなわからないことを聞くなど努力すれば、教授もサポートしてくれます。 |
| | 精神面でのサポート: | 特になし |
| | 住居・生活面でのサポート: | 大学の寮がなく、住む家を探すのはかなり難しいです |
| 課外活動のサポート: | 大学公式のオーケストラとコーラスがあります。(コーラスは音楽経験なしでも参加可能!)またSCUSBというスポーツ系の活動団体をとりまとめて紹介する窓口があります | |
| 1-4 | 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。 | クリックで別シートへ |
| 1-5 | 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか? | はい |

2. 住居について

| | | |
|-----|--------------------------------------|--|
| 2-1 | 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等) | 3、4月から情報収集し、5月中には決めておく方が安心です。VISA取得申請の際にも住居の提出が求められます。(9月にイタリアで出会った人の中には、住居が見つからず何週間も仮住まいやホテルで生活していた人もいました。) |
|-----|--------------------------------------|--|

3. 生活について

| | | |
|-----|--|---|
| 3-1 | インターネット接続環境について | |
| | 住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。 | 可。WiFiが備え付けられており、代金は家賃に含まれていました(光熱費もすべて込み) |
| 3-2 | 大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。 | 可 |
| | 医療について | |
| 3-2 | 留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。 | はい。東京海上日動海外旅行保険に入っていたので医療費はすべて保険からおりました。初めて外国で病院に行くのは不安でしたが、通訳の方を派遣して頂くこともでき、心強かったです。なので保険には加入しておくことを強く勧めます。いつもと環境が変わったり、旅行続きで休みが取れなかったり、寝不足だったりすると免疫力が下がるので特にそのような状態にあるときは十分に体調に気をつけて、休む時間を積極的に設けるようにしてください。 |
| 3-3 | 銀行口座等について | |
| 3-3 | 留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等) | 現地で口座開設は行わず、デビットカードで買い物やATMからの引き出し(現地通貨で)を行っていました。 |

| 4. 経費について(奨学金、留学費用) | | |
|---------------------|--|--|
| 4-1 | 奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等): | 公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団 |
| | 支給額(円/月): | 15万円 |
| | その他(渡航費等の支給): | なし |
| 4-2 | 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。) | |
| | 航空運賃: | 22,0000 円 |
| | 住居費: | (月額) 60,000円 × (留学期間) 7 ヶ月 = 42,0000 円 |
| | 食費: | (月額) 50,000円 × (留学期間) 7ヶ月 = 35,0000 円 |
| | 保険料: | 60,000 円 |
| | その他: | 家の契約保証金、4月分家賃 10,000 円 |
| | 合計(留学期間全体の費用): | 1,100,000 円 |
| 5. 異文化体験について | | |
| 5-1 | 留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。 | とにかく人としゃべるのが好きな人が多い。電車やバスの中でもパールでもお店でも通りでも、しゃべり相手を見つけては延々と会話を楽しんでいる。クリスマスは家族と過ごし、新年は友達と過ごす人が多く、日本とは反対のイメージ。 |
| | 大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。 | フルートの教室に週一回通っていたため、そのたびに先生や他の生徒、教室のマネージャーさんと話していた。 |
| | 課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。 | いいえ |
| | 留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等) | 学生の街なのでイタリアの中では比較的治安の良いところだと思います。夜遅くまで街の人々はお酒を片手に友人や家族と元気に語り合っており、街の中心部は12時頃まで賑わっていました。また、東アジア出身の人はそれほど多くはありませんが、新型コロナウイルスの感染が拡大したときでも特に差別的な態度を取られることはありませんでした。お店では英語が話せない人が結構多いのでイタリア語がまったくできなければはじめの頃は苦労するかもしれません。ですが、どんな言語(片言のイタリア語、簡単な英語、ボディランゲージなど)でさえあれば相手とコミュニケーションを続けようとする姿勢を示せば、会話を楽しんだり、手を貸してくれる人にも出会ったりできるはずです。 |
| 6. 就職活動について | | |
| 6-1 | 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動した場合、どんなことをしたか教えてください。 | いいえ |
| 7. アドバイス、振り返り | | |
| 7-1 | 現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。 | 在ミラノ日本国総領事館からのメール(たびれじ登録)、RepubblicaやCorriereなどの現地新聞 |
| 7-2 | 現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。 | Ziploc、輪ゴム、ティッシュ(現地にもありますがかなりかためです) |
| 7-3 | 留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等) | イタリア語語学力向上、自分の持つ語彙、文法を駆使して積極的にコミュニケーションを取ろうとするようになった。 |
| | 語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。 | 留学前:() 点 → 帰国後:() 点 |
| 7-4 | 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。 | COVID-19 |
| 7-5 | 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。 | イタリアで新型コロナウイルスの感染が急速に拡大する中、帰国しなければならないのか帰国しなくてもよいのか、その判断基準と指示の根拠をもう少し早い段階で明確にして頂けるとよかったです。ですが世界中が混乱状況にある中たくさんの方にご対応して頂き大変お世話になりました。ありがとうございました。 |
| 7-6 | 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。 | 薦めます。ポローニャは人々はあたたかく明るく優しく、料理がおいしく、街並みが美しく、毎日そこで暮らしているだけでも幸せになれる街です。そんな場所で世界中から集まった学生たちとともに学び、議論し、失敗や成功の経験を積めるというのはこれ以上ない機会ではないでしょうか。 |
| 7-7 | 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 (5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価) | |
| | ・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか | 5 |
| | ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか | 3 |
| | ・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか | 5 |
| | ・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか | 5 |
| | ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか | 2 |
| | ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか | 3 |
| ・留学全体の総合的な評価 | 4 | |

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

私はボローニャという街が今回の留学でとても大好きになりました。人、街並み、食事、街の大きさ、言葉、地域で行われる市民主体の活動の数々。ボローニャは本当に魅力にあふれた街です。

(留学先を決める前にボローニャのことを知りたいという方はぜひ以下の本を読んでボローニャの街を覗いてみてください！)

・星野まりこ(2006)『ボローニャの大実験—都市を創る市民力』、講談社

・井上ひさし(2010)『ボローニャ紀行』、文藝春秋

落ち込んだときやなんだか気分が乗らないときでも、ただふらっと街を散歩するだけで不思議と元気になることができる街です。教会がたくさんあり、生きた音楽に触れる機会にも恵まれています。私は大学のコーラスに参加し、また個人でフルート教室に毎週通っていました。広場で開催されるフリーのコンサートもよく聴きに行きました。音楽を通じてたくさんの人と出会い、英語やイタリア語、それに音楽という言葉を紹介して、周りの人たちとコミュニケーションを取ることができ、幸せでした。

大学の授業は、私が取っていたものは毎週リーディング課題があり、教室ではまず教授がレクチャーをし、それを踏まえてグループプレゼンや議論で理解を深めていくという形式でした。たとえ多くの国が似たような課題を抱えていても、その課題に背景にあるものや課題解決に向けたアプローチや考え方はそれぞれ異なります。それらについて、イタリア人学生のみならず、あらゆる国からやってきた留学生とともに議論できる授業はとても刺激的でした。お昼に太陽の下でピザを食べ、身の回りにあふれる芸術に触れ、授業で学んだイタリア語を少しずつ生活の中で実践的に使う、という留学で現地に行ったからこそできる「日常」を体験できました。

私は新型コロナウイルス感染拡大の影響で約半年しかイタリアで生活できませんでしたが、できるならば1年間留学し、感性を最大限に働かせて、たくさんものを吸収してきてください。たとえ長期間の厳しい外出規制がなされていてもベランダに出て近所の人と乾杯したり、音楽家がベランダから演奏を届けたり、誰かからもなく医療従事者へ感謝の気持ちを込めた拍手の渦が巻き起こるようなイタリア人の「人とのつながりを大切に」心やその環境が、あなたを温かく迎え入れてくれることと信じています。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

| No. | コース名 | 教授名 | 時間数／週 | 留学先での単位数 | 授業での使用言語 | 履修している学生数 | 予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください |
|-----|--|-------------------------------|-------|----------|----------|-----------|--|
| 1 | Digital Journalism | | 4 | 8 | English | 20 | グループプレゼンレポートで評価。毎週40ページ前後のリーディング課題。 |
| 2 | Pedgogia dell'inclusione per il progetto di vita | Roberta Caldin /Valeria Friso | 6 | 8 | Italian | 25 | イタリア語に授業についていくには相当な語学力が必要であると実感しました |
| 3 | La lingua italiana B1 | Liliana Losi | 4 | 5 | Italian | 20 | テストの成績評価は合否のみです。予習復習は1回につき2～3時間かかりました。 |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

| |
|--|
| |
|--|